

授業評価 2015 (後期) T1E: 工学部都市環境システム学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.80(2016-02-13) by Yas

2015 年度後期 工学部都市環境システム学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1E004001	プログラミング言語	1 年後期月曜 3 限	檜垣 泰彦	T1E 1
T1E038101	環境ビジネス	3 年後期金曜 3,4 限隔週 2,4	(木村 諭史)	T1E 2
T1E045201	構造力学 II	2 年後期月曜 1 限	近藤 吾郎	T1E 3
T1E048101	情報工学基礎	2 年後期火曜 3 限	荒井 幸代	T1E 4
T1E048102	情報工学基礎	2 年後期火曜 7 限	荒井 幸代	T1E 5
T1E068101	通信工学概論 II	3 年後期金曜 4 限	吉村 博幸	T1E 6
T1E094001	図学演習	1 年後期月曜 2 限	郭 東潤他	T1E 7
T1E106001	環境マテリアル工学	3 年後期月曜 5 限	和嶋 隆昌	T1E 9

授業科目名	: プログラミング言語
担当教員	: 檜垣 泰彦
年次・開講時限	: 1 年後期月曜 3 限
授業コード	: T1E004001
授業アンケート	: 回答者数 61 人 / 受講者数 76 人 (回収率 80%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 59 件)
56% (33 人) の学生が 3 時間以上 (うち 4 時間以上が 17 人) と過半数の学生が毎週かなりの時間を割いて学習したことが伺える。これには演習も含んでいると思われるが、プログラミング言語の習得においては、自分で学習する時間の確保がとても重要であることを考えると、大変好ましいことである。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 60 件)

毎回 1 章をこなすペースについては、毎年意見が分かれるところではあるが、今年は肯定的な意見が 46.6% (28 人) であった。「どちらともいえない」の 16 人を加えると 73.3% となり、多くの学生がついて行こうと努力した様子が伺える。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 60 件)

70% (42 人) が肯定的な回答 (「はい」「ややそうである」) であった。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 59 件)

「はい」が 15.3% (9 人)、「ややそういえる」が 35.6% (21 人)、「どちらともいえない」22.0% (13 人)、「あまりそういえない」20.3% (12 人)、「いいえ」6.8% (4 人) であった。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

今年度は例年よりも受講生が多かった (2013 年度 57 人, 2014 年度 27 人, 今年度 76 人) が、例年よりも熱心に取り組む学生が多いと感じた。昨年度履修しなかった学生が今年度多数履修しており、それらの学生が特に熱心でよい影響を与えたと考えられる。

3. その他のコメントや連絡事項

Web のアンケートは回答率が低くなりがちであることが知られている。その対策としていくつかの方法が提案されているが、その中の一つに (アンケートとは直接関係ない) 学生にとってメリットとなる見返りを提供する方法がある。今回はこのアンケートの自由記述欄を使ってその効果を検証してみた。その結果、学科平均の回答率 56%、学部全体の回答率 49% のところ、この授業の回答率として 80% を得ることができた。このような方法が適切であるかについては、議論があり、今後十分に検討する必要がある。

作成 (者): 檜垣泰彦

授業科目名	: 環境ビジネス
担当教員	: 木村 諭史
年次・開講時限	: 3 年後期金曜 3,4 限隔週 2,4
授業コード	: T1E038101
授業アンケート	: 回答者数 4 人 / 受講者数 14 人 (回収率 29%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 3 件)

全体として評価は高いものの、題材の半分近くは毎年調べ直していることと、毎年の理解度に併せて再構成していることから、まだまだ例え話や事例が完璧になってはいないと思っています。

もう少し環境ビジネスとして捉えやすい、工学的・現実的な事例を増やして対応していこうと思っています。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 3 件)

参加型の授業のため、学生は毎回 2 - 3 回は発言するように指名したが、個人差もあるため、より発言をしやすい雰囲気作りや具体的工夫をしていきたい。

あえて疑問を残して、学生から足りない情報を質問するような手法なども、次年度の授業に取り入れたい。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 1 件)

受講生一人一人の理解や言動と向き合うことができ、教員としても学ぶことが多かった。

授業の合間での軽い立ち話から学生個人の進捗や手応えをつかむことができ、次の年度に改善できるようになってきた。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

参加型授業のため、年度ごとの学生の姿勢・個性の違いが授業のあり方に大きく影響します。今年度はグループワークでは比較的飽きっぽい学生が多かったため、グループワークの時間を 30 分程度に細切れにして、合間に映像などを挟むように工夫した。

他の年度の学生より特徴的に優れていたことが、映像からメモをとる姿勢でした。今後も映像を教材とした場合であっても受動的でない能動的な授業参加のためと、授業内容理解促進のために授業メモも採点対象にすることを採用したい。

3. その他のコメントや連絡事項

今年度の学生は、授業態度において前評判が良くなく、実際に研究室紹介の場でも教員に一喝されていたことを目にしていた。一見、外見や表向きの授業態度で誤解されがちであったが、積極的な発言や貢献してくれた学生がほとんどで、学生と一緒に授業の雰囲気を作ることができたと思っています。

授業で常に述べていたように、環境ビジネスは日進月歩であり、数年前の事例の虚偽が暴かれることもしばしばです。学生同士でも多様な視点で積極的なやりとりができたことで、よりよい授業になってきたと思います。

映像教材をここまで多用したのは初めてでしたが、今年度の学生のメモをとって整理する能力の高さに圧倒されたので、学生の能力や手法を信じて、その都度適切な教材や参加の引き出し方を選んでいきたいと思っています。

作成 (者): 木村諭史

授業科目名 : 構造力学 II
担当教員 : 近藤 吾郎
年次・開講時限: 2 年後期月曜 1 限
授業コード : T1E045201
授業アンケート: 回答者数 33 人 / 受講者数 61 人 (回収率 54%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 33 件)

シラバスに記載通りの講義内容ですので、履修選択に役立ったようでよかったですと思います。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか？(回答 32 件)

基本部分を重視して、極めてゆっくりのペースで進行させましたがやや早いと感じているようなので、内容を吟味して理解度を確保できる進行にします。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか？(回答 32 件)

ほとんどが自宅での学習に時間をかけていない状況が伺えます。講義の進行は理論を積み重ねていくの、復習は必須なので徹底を呼びかけます。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

前期科目をベースに複雑な問題に取り組む授業内容ですが、当方で想定する受講生のレベルとかなり齟齬が最近著しくなっている印象があります。同一の内容で社会人のクラスも並行して開講していますが、受講生の到達度は平均的には時間的余裕のない社会人学生のほうが高く、受講生の奮起を期待します。

3. その他のコメントや連絡事項

アンケートに書かれた点は来年度の参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。次年度受講生については上述の回答・コメントを参考ください。

作成(者): 近藤吾郎

授業科目名	: 情報工学基礎
担当教員	: 荒井 幸代
年次・開講時限	: 2 年後期火曜 3 限
授業コード	: T1E048101
授業アンケート	: 回答者数 19 人 / 受講者数 33 人 (回収率 58%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 18 件)

工学 2 号棟は失敗だった。すぐ外がデザインの学生の憩いの場になっているので講義中、いくら注意してもうるさく、聞いてくれる気配なし。なぜ講義室の外がそのようなスペースになっているのかが不明。時にはドアに紐などがクロスしている "作品" が置かれていたが、あの場所はデザイン所有のスペースでしょうか? そうでないならば、撤去して欲しい。来年度は工学系の講義室で実施します。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 18 件)

復習はアンケートの結果以上によくやっている印象であった。なお、自由記述の中に予習をして臨んだので非常に理解が深くなったという内容があったため、予めテキストに目を通してから講義に臨まれると試験の時も楽だと思う。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 18 件)

質問は歓迎です。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

自由記述を拝見すると「後期で一番面白かった」とあったことは非常にうれしい。もちろん一人が書いてくれたものだが、他も情報アレルギーが治ったなど、肯定的な感想が多く嬉しく思います。

都市環境システムの学生さんは情報アレルギーというか敬遠する傾向がありますが、身近な情報を定量的に捉える方法や、情報を得るといことがどういうことなのかの感覚を説明する理論なので是非 基礎科目として受講して欲しいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

プログラミング嫌が多いようですが、情報理論を先に学ぶと、プログラミングの必要性が見えてくる気がします。カリキュラムの入れ替えなども検討したいと思っています。

テキストを最後の章までやれるように時間配分を検討したいと思います。

作成(者): 荒井幸代

授業科目名	: 情報工学基礎
担当教員	: 荒井 幸代
年次・開講時限	: 2年後期火曜 7 限
授業コード	: T1E048102
授業アンケート	: 回答者数 12 人 / 受講者数 20 人 (回収率 60%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 12 件)

工学 2 号棟は失敗だった。すぐ外がデザインの学生の憩いの場になっているので講義中、いくら注意してもうるさく、聞いてくれる気配なし。なぜ講義室の外がそのようなスペースになっているのかが不明。時にはドアに紐などがクロスしている "作品" が置かれていたが、あの場所はデザイン所有のスペースでしょうか? そうでないならば、撤去して欲しい。来年度は工学系の講義室で実施します。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 12 件)

復習はアンケートの結果以上によくやっている印象であった。なお、自由記述の中に予習をして臨んだので非常に理解が深くなったという内容があったため、予めテキストに目を通してから講義に臨まれると試験の時も楽だと思う。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 11 件)

質問歓迎です。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

自由記述を拝見すると「後期で一番面白かった」とあったことは非常にうれしい。もちろん一人が書いてくれたものだが、他も情報アレルギーが治ったなど、肯定的な感想が多く嬉しく思います。

都市環境システムの学生さんは情報アレルギーというか敬遠する傾向がありますが、身近な情報を定量的に捉える方法や、情報を得るといことがどういうことなのかの感覚を説明する理論なので是非 基礎科目として受講して欲しいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

プログラミング嫌が多いようですが、情報理論を先に学ぶと、プログラミングの必要性が見えてくる気がします。カリキュラムの入れ替えなども検討したいと思っています。

テキストを最後の章までやれるように時間配分を検討したいと思います。

作成(者): 荒井幸代

授業科目名	: 通信工学概論 II
担当教員	: 吉村 博幸
年次・開講時限	: 3 年後期金曜 4 限
授業コード	: T1E068101
授業アンケート	: 回答者数 20 人 / 受講者数 30 人 (回収率 67%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q10. 授業では宿題, レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 18 件)

冬休みにレポート課題を課したのですが, 授業の理解を助けるのに大いに役立ったようです。年明けの授業で解説を行いました。(平均 4.72)

Q11. 授業内容の量を考慮すると, 進度は適切でしたか? (回答 18 件)

進度は適切であったとの回答が多数でした。前回の授業内容を思い出してもらうため, 授業の初めには復習を必ず行っています。(平均 4.67)

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 16 件)

回答者のうち 9 割以上の受講者が満足しています。(平均 4.50)

2. 授業アンケート全体に対するコメント

基礎知識があまりなくても, 授業にきちんと出席している学生は授業内容の理解度が高く, 評点も概ね高い傾向にあります。つまり, 学習到達度が高いといえます。また全体的に, 授業に対する満足度も高いようです。

3. その他のコメントや連絡事項

電磁波, アンテナ, ケーブル等, 通信工学で使用されているもの全般について知りたい意欲のある方に受講をおすすめします。情報セキュリティのお話もあります。授業内容で不明な点があったら, 授業後でも, 居室を訪ねてきてもらっても, 電子メールでも構いませんので, 遠慮なく質問してください。それから, 本アンケートの回答率が 7 割程度とまだ低いので, 授業を受講された方はきちんとアンケートに回答するようにしてください。

作成(者): 吉村博幸

授業科目名	: 図学演習
担当教員	: 郭 東潤, 後藤 直也
年次・開講時限	: 1 年後期月曜 2 限
授業コード	: T1E094001
授業アンケート	: 回答者数 34 人 / 受講者数 49 人 (回収率 69%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 33 件)

製図室の環境について、一部の学生さんに不便をおかけしたようで、申し訳なく思っています。授業での板書の位置や、机上の整理など、改善できることは改善するよう、今後努めたいと思います。

また中には、他学年生の制作物の放置、授業時間外の騒がしさなどが、環境を悪化させているような意見もありました。

講師としてできる限りアナウンスをしますが、皆さんにも今後のお願いとして、製図室を利用する際には今まで通りマナーに気を配り、限られた空間を快適に使えるようご協力頂けたらと思います。

Q9. 例題、例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 33 件)

8 割以上の学生が肯定的な回答でした。

課題の完成形を見本として見せられたのが、イメージが湧いてよかったのではないのでしょうか。次年度ではより理解度を高められるよう、工夫したいと思います。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 33 件)

約半数の学生が、やや早いと感じているようでした。

次年度では補助資料を用いるなど、課題の作業ボリュームを調整したいと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

予想はしていましたが、アンケートでは「課題が大変だった」という意見が多くみられました。皆さん、各課題に対してかなりの時間とエネルギーを費やされたかと思います。

本授業は「実務である製図等に繋がる、基礎的図学理論の学習」という事で、慣れない事の連続だったかと思いますが、それでも最終的には多くの学生が目標課題をやりとげました。

評価こそありますが、完成させたところに学習の大きな到達点があったかと思います。

時間はかかったかもしれませんが、手順を追い、1つ1つの理解を繋げた結果の課題完成だったと思いますので、

これらのプロセスを経験ととらえ、今後活かして頂けたら幸いです。

3. その他のコメントや連絡事項

月曜日の授業はイレギュラーな日程も多く、課題の時間確保が大変だったかと思います。

授業では、徹夜明けの様子も見受けられましたが、よくがんばり抜いてくれました。

本授業は演習という事もあり、学生と講師(TA)との距離が比較的近い授業だったと思います。

そのような中、授業中によく質問をしてくれた事が、理解度を高めてくれたと思い、とてもありがたく感じました。これからも学生の皆さんには、受け身ではなく、主体性をもって授業に臨み、先生に質問をぶつけて貰えたらと思います。当たり前ですが、何にでも自発的に取り組んで初めて、道は開けてくるものです。

ということで、皆さん、2016 年度も各々の道でがんばってください！

作成(者): 後藤 直也

授業科目名	: 環境マテリアル工学 (旧名称「環境・エネルギー材料」)
担当教員	: 和嶋 隆昌
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 5 限
授業コード	: T1E106001
授業アンケート	: 回答者数 23 人 / 受講者数 42 人 (回収率 55%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 21 件)

質問をする機会を授業中にもっと増やしていきたいと思います。

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。 (回答 4 件)

温熱環境に不満ということですので, なるべく早めに暖房をつけたいと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

内容的には学部 3 年生には物足りない内容かもしれませんが, 大半が理解できているのでよかったですと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

毎年ですが, スライドが見やすかった, 見にくかった, という 2 つの意見がです。

おそらくスライドのとらえ方の問題だと思いますので, その点も含めて授業をしたいと思います。

作成 (者): 和嶋